

「うつ病に対する rTMS 療法の有効性と双極性障害に関する因子との関連の探索～後ろ向き観察研究」へのご協力をお願い

神奈川県立精神医療センターでは、今まで当院で rTMS 療法を受けられた患者さんを対象に、電子カルテに記載された診療録を用い「うつ病に対する rTMS 療法の有効性と双極性障害に関する因子との関連の探索～後ろ向き観察研究」に対し調査する研究を実施しています。この研究は、rTMS 療法の適応となる治療抵抗性うつ病患者さんの今後の治療方針の決定や回復支援に役立つと考えております。

研究課題名	うつ病に対する rTMS 療法の有効性と双極性障害に関する因子との関連の探索～後ろ向き観察研究
研究の対象	2022 年 4 月 1 日から 2026 年 1 月 30 日までの間に神奈川県立精神医療センターにて rTMS 療法を受けられた方を対象とします。
研究の目的・方法 (試料・情報の利用目的及び利用方法)	当院にて rTMS 療法をお受けになった患者様の臨床的特徴を調査し、双極性障害と関連のある臨床的特徴が rTMS の有効性と相関があるか探索することです。ただし、患者さん個人が特定できないように匿名化して調査するため、個人情報が入外部に漏れることはありません。プライバシーには十分に配慮します。
研究期間	承認日～2026 年 6 月まで
研究に使用する試料・情報の種類	電子カルテの診療録情報（発症年齢、双極性障害の家族歴、抑うつ症状の持続期間と反復の有無、非定型・精神病的な特徴を伴ううつ症状の有無、病前性格、産後うつ病の既往の有無など）
研究実施期間（研究組織）	主研究機関：神奈川県立精神医療センター 研究責任者：大橋 文香
外部への試料・情報の提供とその方法	外部への試料・情報の提供はいたしません。
情報の管理について責任を有する者・所属	大橋文香（神奈川県立精神医療センター）

本研究はヘルシンキ宣言（2013 年 10 月 WMA フォルタレザ総会での修正版）及び人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（2022 年 4 月 1 日施行）に従って実施され、患者さんの個人が特定できる情報とは切り離れたうえで使用するため、個人情報が入外部に漏れることはありませんし、プライバシーには十分に配慮して行います。また、研究の成果は関係の学会や学術雑誌で発表されますが、患者さん個人を特定できることはありません。

本研究は神奈川県立精神医療センター内で実施しております。研究者は企業等から独立して計画を立案し実施いたしますので、開示すべき利益相反はありません。本研究の対象となる患者さんで、ご自身の

情報は利用しないでほしい等のご要望がございましたら、下記連絡先までご連絡ください。研究データから情報を削除いたします。その場合も診療において不利益を被ることはございません。尚、調査と検討が進み統計的処理が実施、公表された場合には、情報の削除ができないことをご了承ください。

本研究についてお尋ねになりたいことがございましたら下記連絡先にお問い合わせください。個人情報等に支障のない範囲で研究計画書を閲覧することもできますのでお申し出ください。また、苦情等の相談窓口は神奈川県立精神医療センター総務課倫理委員会事務局です。

連絡先： 研究責任者 大橋 文香
地方独立行政法人神奈川県立病院機構
神奈川県立精神医療センター
総務課 倫理委員会事務局
Tel : 045-822-0241